



写真 - 1 大規模斜面崩壊(その1)

雲林県古坑卿草嶺(標高1234m)の南斜面で発生した大規模斜面崩壊。

崩壊土量は衛星写真から推定して、3億5千万 m^3 とも言われている。



写真 - 2 大規模斜面崩壊(その2)

崩壊した土砂によって川が堰きとめられて、湖が出現した。



写真 - 3 大規模斜面崩壊(その3)

1941年に起きた地震によっても、およそ1億 m^3 の斜面崩壊が発生した。

今回の地震は、前回の崩れ残った部分の崩壊が引き金となって生じたのではないかと考えられている。



写真 - 4 岩盤のすべり面

斜面勾配は約 13° である。滑落面の上に巨大な転石や堆積土があるが、そのすべり面は一様に滑らかである。



写真 - 5 すべり面の中腹に位置する崖

崖の高さは約6mである。
東大・龍岡先生の調査団と合流した。



写真 - 6 すべり面中腹から下を望む

すべり面は自然にできたとは思えないほど、とてもフラットな面となっている。

砂岩の間に頁岩が挟まっており、これが弱面となって崩壊したと推定される。



写真 - 7 切り立った破断面(その1)



写真 - 8 切り立った破断面(その2)



写真 - 9 岩盤のすべり面



写真 - 10 復旧用の仮設道

走る車の砂埃から、斜面崩壊が起きた直後の砂煙はすさまじかったのではないかと想像される。



写真 - 11 湖の出現(その1)

崩壊によって川が堰きとめられて、湖が出現した。



写真 - 12 湖の出現(その2)

電信柱をたどって行くと、道路が湖面の方向に向かっていることがわかる。



写真 - 13 自然のダム

崩壊によって天然のダムができています。